

河川事業の再評価概要書

()は、前回再評価時

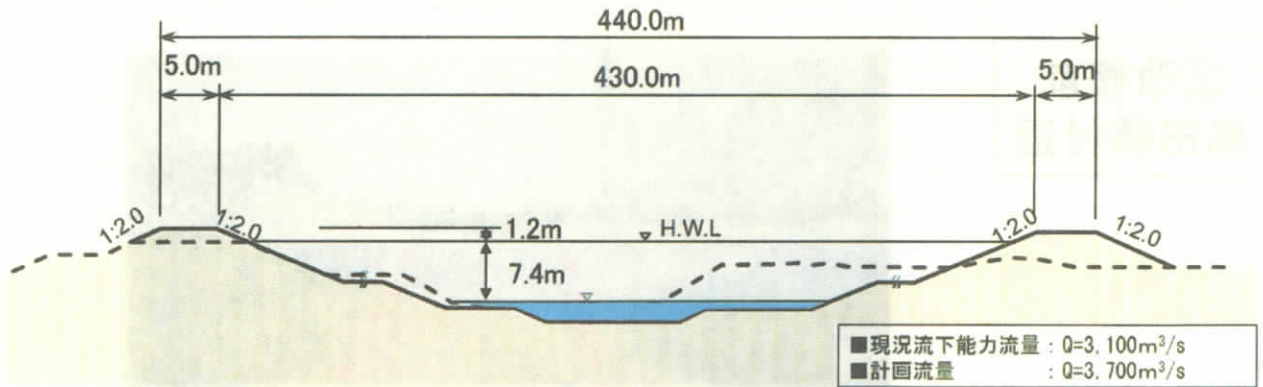
番号		1	
事業主体		栃木県	
事業名	安全な川づくり事業	事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>おもいがわ</small> 思川	事業箇所名	<small>おやまし</small> 小山市
事業区間	<small>おやましおとめ</small> 小山市乙女地先～ <small>おやまししまだ</small> 小山市島田地先	事業延長	11,413m
平成9年度事業化		平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	H9～H38	事業進捗状況	基準年次：【平成28年度末時点】
[うち用地補償費] 全体事業費	[13.7億円] 63.4億円		[うち用地補償費] 既投資事業費
事業概要			
<p>思川は、その源を足尾山地の地藏岳に発し、本県の中央部から南部を南下しながら、黒川、姿川などの支川を合流し、渡良瀬遊水地に流入する河川である。</p> <p>計画区間は、河積が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。そこで、築堤等により河積の拡大を図り、氾濫を防止し被害の解消を図る。</p>			
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変化等			
計画区間の上流部において、平成19年度にJR両毛線の鉄道橋架替工事（鉄道橋・道路橋緊急対策事業）を完了している。			
事業の投資効果			
① 費用対効果分析結果			
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
1) 事業全体	B/C= 10.1	1,682.0億円	166.6億円 [L=11,413m]
2) 残事業	B/C= 5.5	94.6億円	17.0億円 [L=2,500m]
② 事業の整備効果等			
整備を図ることにより、宅地、商業施設、道路や農地の浸水被害が解消される。			
事業の進捗状況等			
① 事業の進捗状況			
事業延長11,413mのうち、小山市乙女地先から小山市島田地先(一部掘削を除く)全区間の整備が完了している。			
② 今後の事業進捗の見込み			
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。			
コスト縮減等			
① コスト縮減方策			
築堤の盛土材については他事業で発生した残土を流用し、工事費の縮減を図る。			
② 代替案立案等の可能性			
計画区間において、築堤工事が概成しているため、本計画が最適である。			
事業の対応方針(案)	現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

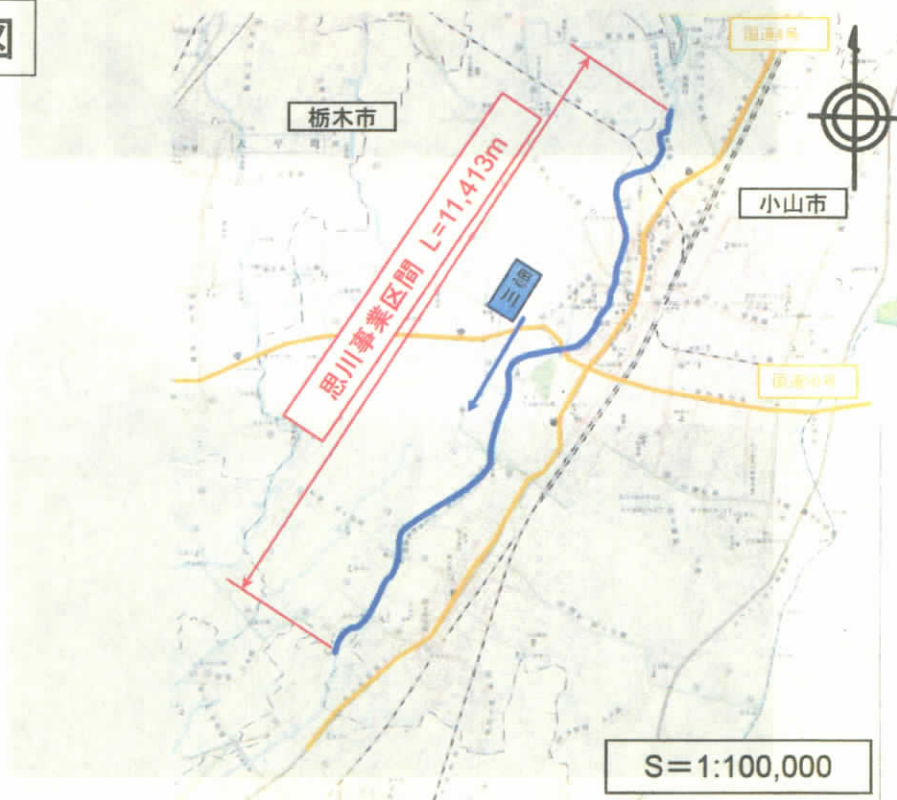
位置図



標準断面図



概要図



①出水状況
間中橋付近



②改修前
島田橋付近



③改修後
島田橋付近

